

# 宇部のコミュニティ・スクール

## 地域連携教育アドバイザー体制の今後

山口県では、本年度 15 名の地域連携教育アドバイザーを 19 市町に配置しています。来年度から地域連携教育アドバイザーは 7 名体制となり、2 年間でその配置も終了する予定です。

このことを踏まえて、今年度の後半は、各学校で学校運営協議会の運営や推進体制をさらに改善したり充実させたりして、各学校の課題解決や地域連携教育の充実につながるような協議や実践力の向上が望めます。また、各学校の地域連携教育担当教員を校務分掌機構図に確実に位置づけるとともに、地域コーディネーターの発掘や育成を通して「地域とともにある学校づくり」が組織的・持続的に進められるようにしたいものです。

### 第 2 回地域連携教育アドバイザー連絡会

9月27日に宇部市立厚南中学校で、地域連携教育アドバイザー連絡会が行われました。

事例発表一つ目として、宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 水津 正実 課長より、「宇部市におけるコミュニティ・スクールの取組の推進」がありました。「地域とともにある学校づくり」を推進し学校を核とした地域づくりを一層推進するために、コミュニティ・スクール事業と社会教育事業の担当を統合したこと。「社会の変化に対応した特色ある教育の推進」や「地域における教育力の向上」を進めていることが出席された方々に説明されました。

事例発表二つ目は、厚南中学校 荒川 勝美 教頭より、「厚南中学校におけるコミュニティ・スクールの取組」について説明がありました。学校が地域に打って出ること、ふるさと厚南を愛し、進んで活躍できる生徒が確実に成長していることや地域との連携だけでなく小学校との連携が進んでいることもよくわかりました。

校内施設見学では、家庭科の裁縫の授業で地域ボランティアの方がミシン縫いの補助をしておられる様子も見ることができました。

連絡会後半は、4グループに分かれて地域連携教育アドバイザーの協議が行われました。各グループの協議の報告では、「今年度開催された地域連携担当教職員研修会は大変よかった。」「アドバイザーが7名となる来年度以降は、担当指導主事の働きが期待され、若手の人材育成が大切となる。」「『やまぐち型地域連携教育の手引き』を作成することで、県下各学校の取組を平準化することも必要である。」「アドバイザーは、旧教育事務所単位での研修会を通じた指導・支援になるのでは。」などの意見が出されました。

残り半年、引き続きやまぐち型地域連携教育を推進するための持続的・継続的で主体的な取組体制の構築が迫られていると思いました。



【コミュニティスクール推進課ができ、県内でも注目的です。】



【教頭先生の熱い説明に、皆さん熱心に聞き入っていました。】



【アドバイザー連絡会は、貴重な情報交換の場となりました。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail : ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp